



武田テバファーマの ジェネリック事業買収について

2020年7月30日

日医工株式会社 代表取締役社長
田村 友一



日医工株式会社

第8次中期経営計画「NEXUS ∞」



戦略1 事業領域のさらなる深化/進化

戦略2 徹底したオペレーションの最適化の追求

戦略3 グローバル水準の品質確保、競争力強化

戦略4 ESG活動を基盤としたライフサイエンス企業としての信頼確保

今回の買収の目的

当社を取り巻くチャレンジングな事業環境、当社が取り組むべき課題に打ち克つため、本買収によって一層の「オペレーションの最適化」、「グローバル水準の品質確保、競争力強化」を推進させます

1

内製化等によるグループ生産体制の最適化

原薬の統一、重複品目（日医工、エルメッド、武田テバ）の見直し、特殊製剤の内製化、生産体制の適正化

2

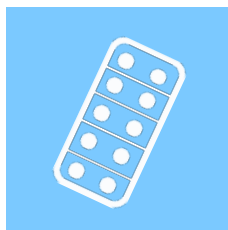
品質管理体制の強化

武田テバのグローバル品質管理体制、優れた人財・ノウハウの獲得
品質管理600名体制、受託事業から得られる外部ノウハウ

日医工グループに新たに製造ラインアップが加わります

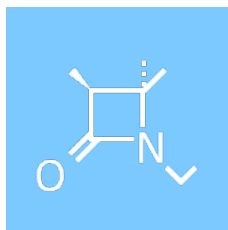
抗がん剤

高薬理活性棟の活用



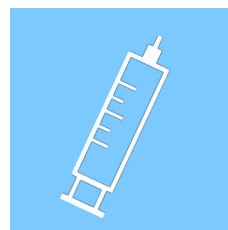
抗生物質

セフェム系抗生物質 製造可能



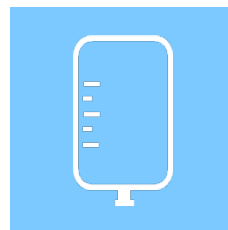
シリンジ製剤

特殊製剤（シリンジ製剤）製造可能



バッグ製剤

特殊製剤（バッグ製剤）製造可能

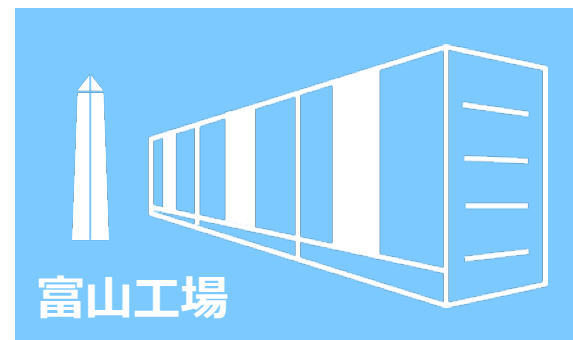
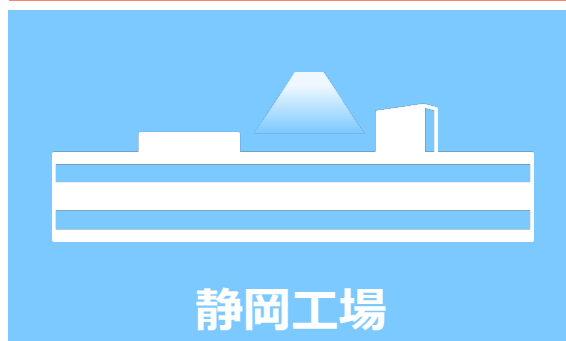
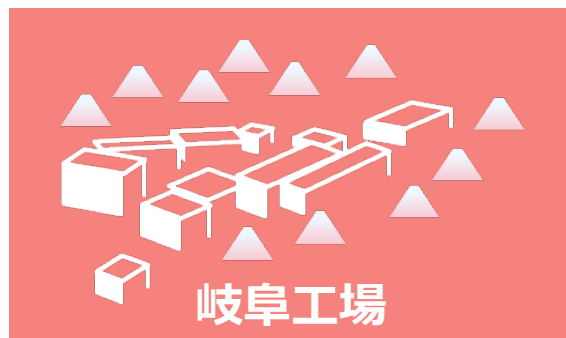


シナジー効果

特殊製剤ラインを活用し、外部委託先からの内製化
日医工グループ全体の生産体制の適正化

重複品を統一

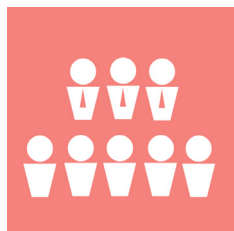
今回の買収品目だけでなく、これまでの既存重複品も対象として品目統一を行います



グループ工場 生産品最適化

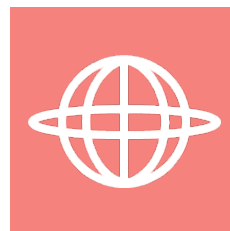
各工場の特徴（設備、ロットサイズ）に合わせ品目数を最適化
600名体制による品質管理強化

新品質方針の下、グローバル品質基準との融合により、品質管理体制の強化を図ってまいります。



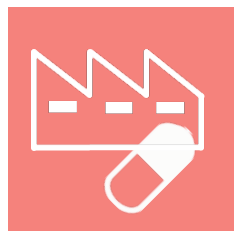
品質管理人員

- ・品質管理部門の増強
- ・製剤開発部門の増強



グローバル品質基準

- ・武田テバのグローバル品質基準に
依拠した品質文化の取り込み



受託ビジネス

- ・受託ビジネスによる生産、
品質管理レベル維持向上



新品質方針

- ・患者様の病気と気持ちに寄り添う
ジェネリックメーカー
- ・安心と信頼への約束

シナジー効果

人的増強、相互文化の融合により品質管理体制を強化
グローバル基準に対応した新しいサプライチェーン体制を構築

中期経営計画における本件の位置付け

本買収は、中期経営計画で掲げた各基本戦略の強化を通じ、企業価値向上、グローバル総合ジェネリックメーカーへの進化に大きく資するものと確信しています。

第8次中期経営計画／4つの基本戦略

本件買収により想定される効果

NEXUS  Better than the Best.

戦略1

事業領域のさらなる深化/進化



- 広範な疾患領域をカバーするジェネリック医薬品の獲得、製品ポートフォリオの拡充
- 取得工場を活用した製造受託事業への事業展開

戦略2

徹底したオペレーションの最適化の追求



- 最先端設備を有する工場取得による生産効率化
- 製造能力・供給能力の一層の強化
- バリューチェーン・原薬の最適化

戦略3

グローバル水準の品質確保、競争力強化



- グローバルで競争力のある人財の獲得、当社人財プラットフォームの強化・拡充
- 品質管理体制の強化による超品質の追求
- 製剤改良、原薬複数化等を通じた医薬品安定供給体制の強化、製品付加価値の向上

戦略4

ESG活動を基盤とした
ライフサイエンス企業としての信頼確保



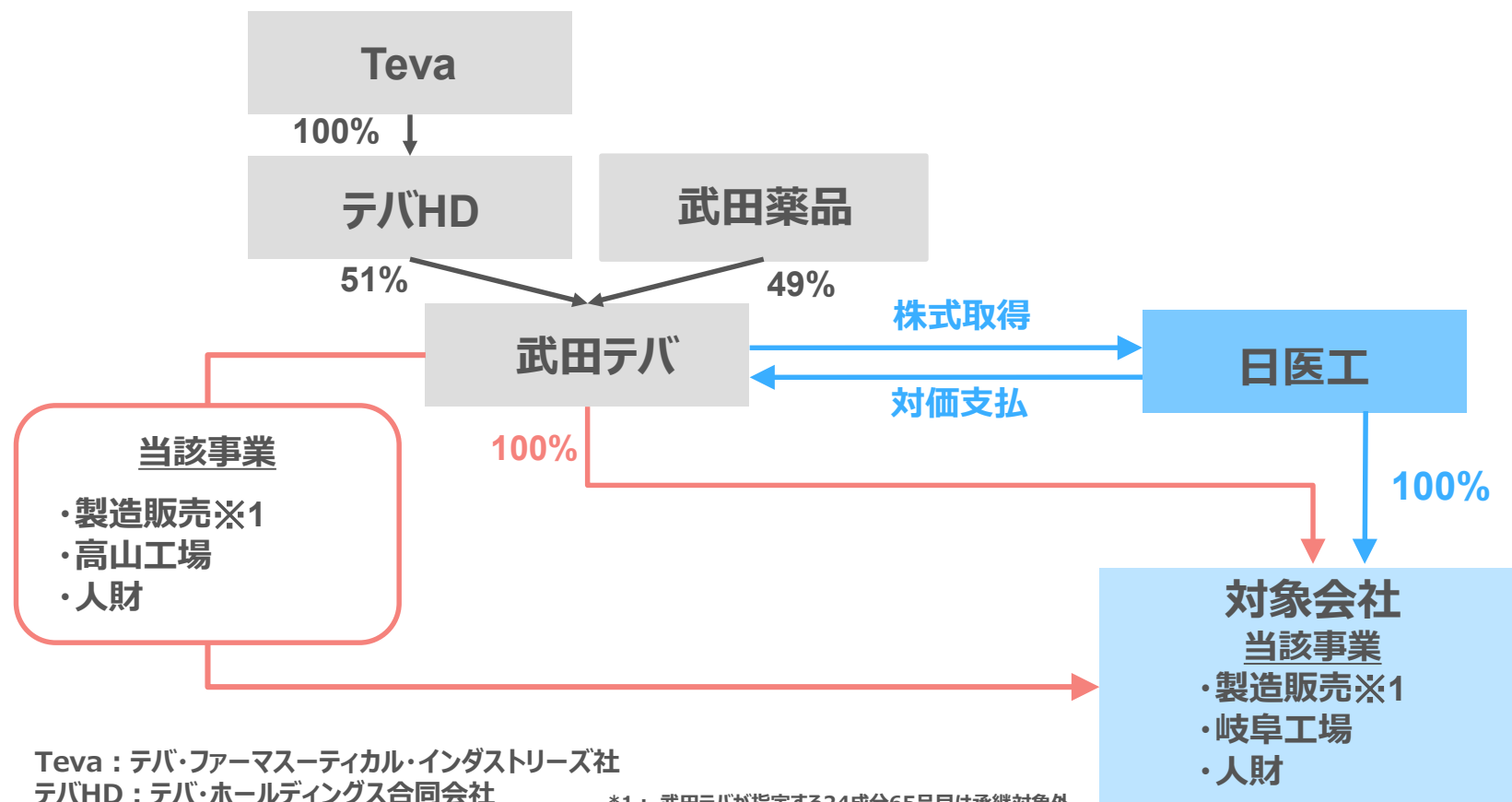
- 人財の多様性向上
- 地元産業への貢献と雇用の確保
- グローバル水準の品質管理体制によるガバナンス強化

グローバル総合ジェネリックメーカーへ

買収スキーム図

フェーズⅠ 当該事業を対象会社へ吸収分割

フェーズⅡ 対象会社株式の取得



*1: 武田テバが指定する24成分65品目は承継対象外
オーソライズドジェネリック、長期収載品事業及びMRは取得対象事業に含まれない

本買収方法の概要

2021年2月に株式取得を完了する予定です。

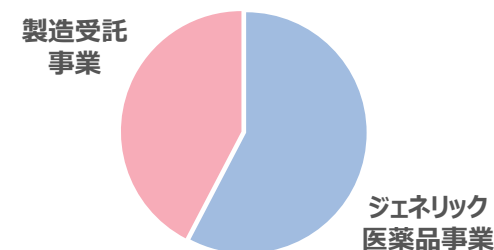
買収スキーム	■ 武田テバファーマ株式会社の完全子会社として新設会社を設立 ■ 設立後、武田テバファーマ株式会社よりジェネリック医薬品事業*1及び岐阜工場に係る製造受託事業を会社分割により承継 ■ 当該新設会社の全株式を日医工が取得
買収実施時期	■ 2021年2月1日：買収完了予定
買収資金の調達方法	■ 手許資金で充当
財務への影響	■ 財務への影響については、正確な金額が判明次第、追って開示予定

*1：武田テバファーマ株式会社が指定する24成分65品目は承継対象外

本買収の概要（１）：本買収対象企業の概要

買収対象企業の概要は以下のとおりです。

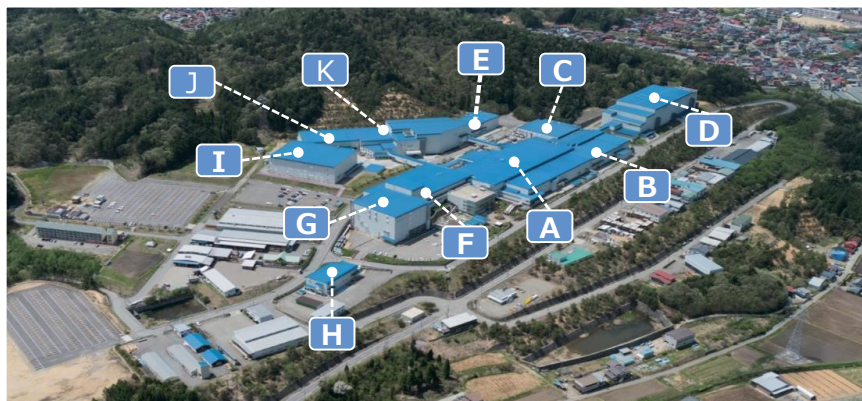
会社名	■ 日医工岐阜工場 株式会社（仮称）
設立	■ 2020年8月設立予定
拠点	■ 本社所在地 ： 未定 ■ 岐阜工場 ： 岐阜県高山市
売上高	■ 売上高合計： 31,954 百万円（2019年12月末） - ジェネリック医薬品事業：約60% - 製造受託事業： 約40%
資産	■ 資産： 33,308 百万円（2019年9月末）



本買収の概要（２）：岐阜工場の概要

岐阜工場が保有する生産設備を活用し、外注製品の内製化及び当社生産体制の最適化を図るとともに、日医工のノウハウを活用して更なる効率化を目指します。

レイアウト



名称

A	本棟（第1固形剤、第1注射剤）
B	品質管理棟
C、D、E	第2・3・5固形剤棟
F、G	第2・3注射剤棟
H	南工場
I	抗生剤棟
J、K	配送センター、倉庫

基本情報

- 所在地：岐阜県高山市
- 敷地面積：118,599 m²
- 建築延床面積：119,282 m²
- 生産剤型：固形剤、注射剤（アンプル、バイアル、シリンジ、バッグ）
- 生産実績：27億錠、注射剤45.4百万本（2019年度）
- 生産能力：40億錠、注射剤1.1億本
- 従業員数：744名（2020年6月末）
- 機能：生産、調達、薬事、品質管理、品質保証
- 特徴
 - 特殊剤型（シリンジ・バック）の製造能力
 - 抗生物質、抗がん剤の製造能力
 - 最新鋭の生産設備（オートメーション化）
 - 敷地面積が広く、更なる生産設備の拡大が可能

【ご参考】本買収後の生産体制

製造受託機能を有する戦略性の高い岐阜工場を取得するとともに、錠剤200億錠規模の生産能力体制を実現します。

富山第二工場



■ 散・顆粒剤包装

富山第一工場



■ 経口剤

北海道工場 (ヤクハン製薬)



■ 消毒剤・局方製剤

山形工場



■ 外用剤

岐阜工場



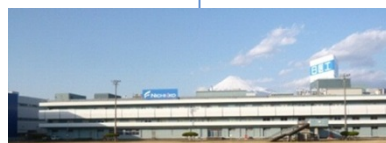
■ 錠剤・注射剤

愛知工場



■ 液剤・注射剤・凍結乾燥製剤

静岡工場



■ 一般製剤・抗生剤の注射剤

埼玉工場



■ 付加価値製剤・ゼリー・点眼

海外生産拠点



ケベック

モントリオール工場
(Omega社)



ニューヨーク

プラッツバーグ工場
(SterRx社)

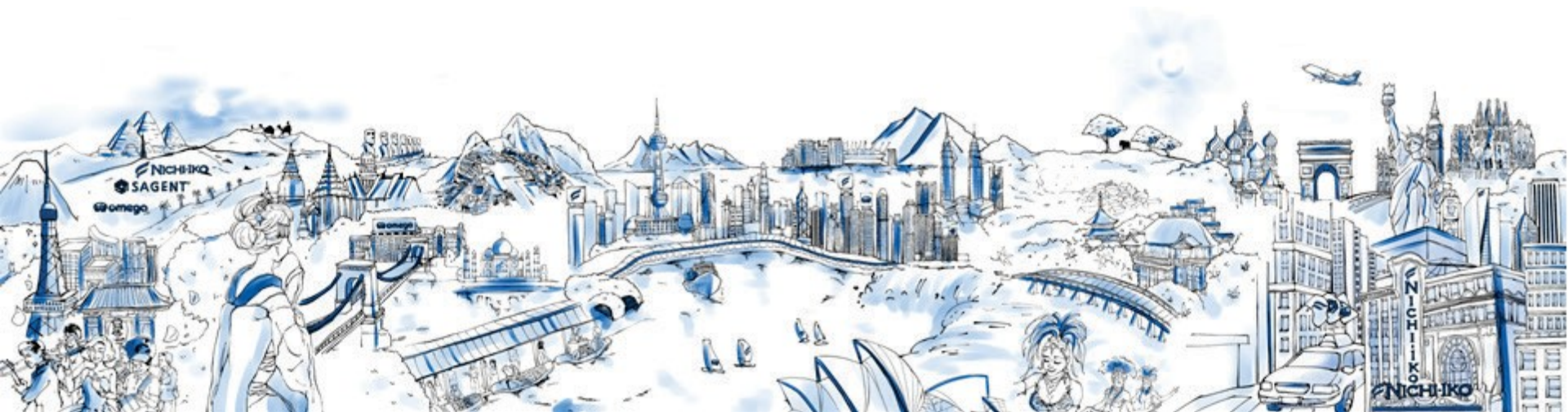


ノースカロライナ

ローリー工場
(Sagent社)

ミッションステートメント

我々は、我々のジェネリック医薬品が
世界の患者様とそのご家族・薬剤師様・お医者様・
卸売業者の方々・製薬企業の方々に必要とされ、
提供し続けるために自ら存続する努力を行い、
ジェネリックメーカーとして世界で卓越する。



本資料のいかなる情報も、弊社株式購入や売却などを勧誘するものではありません。本資料に記載されている業績予想及び将来の予測等に関する記述は、資料作成時点での入手された情報に基づき弊社で判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。

従いまして、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おき下さい。

万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は一切責任を負いませんのでご承知おき下さい。